

「こども家庭センター

保健師
向け



ガイドライン」のポイント

～サポートプラン作成の技術～

日程

令和6年7月19日（金）

対象

保健所・保健センター・こども家庭センター等に勤務する保健師、
子ども家庭福祉に携わる職員

ねらい

「こども家庭センター」の母子保健機能に求められる、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭までのポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて、「こども家庭センターガイドライン」を中心に学び、実際のプラン作成を模擬事例の演習で行います。

講師

武蔵野大学 看護学部教授 中板育美 氏(看護学博士)

カリキュラム（1日研修）

9：00～12：00 演習・講義

「こども家庭センター」の理念と制度の骨格を学ぶ

母子保健・児童福祉の両機能の連携を深め、児童及び妊産婦の福祉に関する包括的な支援とともに、漏れのない対応を実施するために、「こども家庭センター」の制度と理念、並びにその役割を学びます。

13：00～17：00 演習

アセスメントと記録の作成・セルフプランの作成支援とサポートプランの策定

「こども家庭センター」創設のねらいを踏まえた相談援助を行うために、模擬事例を使って演習を行います。的確なアセスメントに基づき、セルフプランやサポートプランを実際に作成し、継続的に必要な支援内容の組み立て技術を学習します。

場所

特別区職員研修所

（東京区政会館別館）
（千代田区九段北1-1-4）



【問合せ先】特別区職員研修所
教務第2課 児童相談研修係
Tel：03-6261-1313